

2011年11月26日(土) 理事・監事・評議員会義議事録(概要)

日時：平成23年11月26日(土)

午後2時30～午後4時30分 (午後2時から2時30分懇談の時間)

会場：都立桜修館中等教育学校 大会議室(玄関に案内表示)

次第： 1、理事長挨拶
2、議事

議題： 1、平成22年度事業報告
2、平成22年度決算報告、並びに決算承認の件
3、平成23年度事業報告、並びに予算案の件
4、人事について(理事長、監事、会計、事務)
5、会則の変更について
6、臨時総会の開催について 平成24年4月28日(土)午後1時開会
桜修館 多目的ホール
7、同窓会ホームページの運営について
8、その他

以上につき協議承認されました。

2011年11月26日(土) 理事・監事・評議員会義 議事録

日時：平成23年11月26日(土) 午後2時より懇談、2時30分開会 4時30分閉会

会場：都立桜修館中等教育学校3階大会議室

出欠：理事・監事・評議員113名中、出席17名、委任状出席40名、合計57名(50,44%)

次第：

理事長挨拶：内野滋雄理事

議長：内野滋雄理事長

議案1：平成22年度事業報告(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

①平成22年12月1日発行 発送部数：9,342部 返送数：248部

②第61期入会手続き：入会同意書配布・回収、調査票配布・回収

- ③第 56 期～第 61 期生補遺の発行：B 5 判 24 ページ、200 部、印刷、製本
- ④第 61 期生へ名簿、補遺の贈呈：卒業式当日
- ⑤新入会：153 名
会員総数：14,306 名；住所判明者：9,221 名 64,46% 死亡・不明者：5,085 名 35,54%
- ⑥ 第 61 期 新任理事・評議員就任
理 事：B 組 鈴木拓海
評議員：A 組 木村優花、B 組 鈴木拓海、C 組 末續理紗、D 組 関根 環
- ⑦ 閉校記念碑「繁栄」（作：野上公平）建立
* 同封会報 3 ページ参照
- ⑧ 閉校記念式典、閉校記念碑贈呈式、閉校記念パーティー開催
* 同封会報 3 ページ参照
- ⑨ 「閉校記念誌」仕入れ頒布 仕入れ 500 部 期中売り上げ 407 部 在庫 93 部
- ⑩ 「八雲が丘文庫」開設現在蔵書 110 書目
* 同封会報 4 ページ参照
- ⑪ 「八雲が丘学友会」創立
- ⑫ 会議：「平成 22 年度上期理事・監事・評議員会議」平成 22 年 11 月 27 日
「平成 22 年度下期理事・監事・評議員会議」平成 23 年 4 月 23 日
「総会」平成 23 年 4 月 23 日
「同窓会報 2011 編集会議」平成 23 年 6 月 18 日
- ⑬ 第 63 期記念祭への出展：「八雲が丘の集い」（302 講義室）
共催：府立高等学校同窓会 * 同封会報 2 ページ参照

議案 2：平成 22 年度決算報告、並びに決算承認の件（資料 1）

議案 3：平成 23 年度事業計画案、並びに予算案承認の件（資料 2）

* 予算案について：

収入の部：名簿と閉校記念誌の売り上げ過大であり各半額で計上。

会費収入については、やってみないと分からない。

支出の部：会報は合い見積もりを取り収入に見合う予算内に納める。

記念祭費は年表作成費用を圧縮する。

* 上記による修正予算書を同封

議案 4：人事について

1、理事長 * 穴戸迪武（13A）

2、監 事 * 簗原利憲（11A）

3、会 計 *北原久利 (18F)

4、事 務 *鈴木節子 (12B) *交渉中

*上記人事を満場一致で承認。来年4月の臨時総会で発表紹介。

議案5、会則の変更について 北原久利会計提案

*提案について、会計年度期間の変更、監事の人数の設定、副理事長の設定等について意見が出、新役員で再検討し、次回の「平成23年度下期理事・監事・評議員会議」で成案し、臨時総会で議決する。

議案6、平成23年度下期理事・監事・評議員会議と臨時総会の開催：

平成24年4月28日(土)会場：都立桜修館中等教育学校 2階「多目的ホール」

平成23年度下期理事・監事・評議員会議：午前11時～12時

臨時総会：12時受付開始、午後1時開会

議案7、同窓会ホームページの運営について 北原久利HP企画委員長

*北原HP企画委員長が「年間のランニングコストは8,000円程度」と報告

議案8、その他

1、「八雲が丘学友会」について

*「八雲が丘学友会」は、現在内野滋雄が理事長、当会からは野口貞義が理事として参加しているが、将来新役員と交代する。

2、「八雲が丘文庫」について

*会報4ページ参照

3、第64期記念祭への出展について

*「八雲が丘学友会第6回会合」の席上、「出展の目的を桜修館の歴史を知ろうに絞り、グラフィックな80余年の歴史年表を作成し、玄関等の目立つ場所に展示する」との意見が出たので予算を計上したが、予算が過大であるとの指摘があり、やるとしても簡素なものにする。また、旧制府立高校、新制都大附、桜修館の間には、思いに温度差があり、桜修館の生徒や教職員が、どの程度興味を持ってくれるか疑問だとの発言があった。

4、資料の保管について

*旧制府立高等学校の資料は整備が進み、桜修館の資料室(メモリアルルーム)に保存さ

れているが、新制都大附の資料は、学校関係は保存されていると思われるが、同窓会関係は、名簿と会報を整備して保存する必要がある。

5、「東京校歌祭」への参加について（資料3）

*「東京校歌祭」については、主催者より当会へ正式に参加要請があったので、今年10月1日の第19回を見学し、理事・監事・評議員会議で報告し、参加の可否を問うことになっていたが、当日はどうしても参加が出来ず、来年10月6日の第20回を見学した上で、再度理事・監事・評議員会議で報告し参加の可否を問う。

参考：参加費は初回5万円、2回目からは10万円が必要。

以上